

【教育活動の名称】 やさしく かしこく しなやかに

【副題】 ～地域に誇りをもち、自らに自信をもって生きる子の育成～ 【学校名】 米原市立息長小学校

1 本校の概要

本校は、豪族息長氏が収めた地にあり、学校周辺には古墳がある。また近くを天野川が流れ、そこに生きるゲンジボタルが有名である。現在本校は 147 人の児童と教職員 15 人である。

昨年度から、「ふるさと大好き！ みんなきらきら！」を合言葉として、1～6年生が地域学習に力点をおいて、地域の歴史や自然環境、文化について学んでいる。今年度は、さらにそれを前進させて、「より本物に」触れて学ぶことを主眼に置き、①地域の方に、地域のことについて教えていただき、地域の方や地域とふれあう学習、②地域のために、子どもたちが自主的に行う活動、③伝統を受け継ぐ学習、④地域の良さを探る学習の研究をすすめていくこととした。

2 取り組んだ内容

(1) 地域の方に、地域のことについて教えていただき、地域の方や地域とふれあう学習

・「ふるさとウォーク」：6年生が、外部講師の方のお話を聞きながら地域の歴史遺産をめぐり、地域の歴史の奥深さや良さを学んだ。この活動では、地域の方や老人会の方も参加され、地域全体での学びとなった。

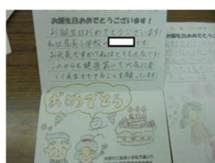


・「オオムラサキを育てよう」：3年生が、オオムラサキを守る会の方に生態や飼育の方法などを教えていただき、自分たちでお世話をする活動を行った。この学習から子どもたちは、地域に生きる蝶への関心を高め、国蝶・県蝶が生きる地域への誇りを高めることができ、すすんで世話をする姿が見られた。



(2) 地域のために、子どもたちが自主的に行う活動

・「おうみ友愛民生委員」：5・6年の児童が、民児協と協力して地域の独居老人の方にバースデーカードを作り、プレゼントした。地域の方から感謝されたことから、自己有用感を高め、地域のために何ができるのか考えるき



っかけとなった。

・「伊吹山の現状を学ぶ」：4・5年生が霊峰伊吹山の会から講師をお招きして、伊吹山の環境破壊の現状についてお話を聞いた。伊吹山の自然を守っていくために、自分たちで何ができるか考え、行動していこうとする機会となった、



(3) 伝統を受け継ぐ学習

・「箏曲鑑賞ならびに演奏体験」：箏曲の家元さんに来ていただき、2・4年生が箏曲を鑑賞した。その後、4年生が箏を使つての演奏体験を行った。子どもたちは音色の美しさに感動するとともに、演奏することの楽しさを感じ取った。



(4) 地域の良さを探る学習

・「山津照神社を描こう」：6年生が地域の大社である山津照神社での写生会を、米原市在住のイラストレーターの方を講師にお招きして実施した。地域の文化遺産の荘厳さや迫力を絵画に表し、その良さに気づくことができた。



3 活動の成果

本校の学校評価で「地域や学校のまわりのことをたくさん学び、故郷のすばらしさに気づきましたか」との質問を児童にたずねたところ、昨年度は82.5%が肯定的評価をしたが、今年度は87.5%が肯定的な評価をした。同じ質問を保護者にも実施したところ昨年度と比較して約10%肯定的な数値が高まった。さらに「自分に自信をもって生活することができました。」の質問について、子どもたちの数値は1学期と比較して約5%高まっている。地域の方々から地域を学ぶことを通して、子どもたちは自分が住んでいる地域に誇りをもち、この地域に安心して、自分らしく生きていることを実感しつつあると言える。また、子どもたちだけでなく、地域全体に、シビックプライドを醸成させていくことのきっかけを作ることができたのではないと言える。